

ランの道づくりについて (資料 3-5)

1 事業概要

(1) 経緯

太田川駅東歩道「ランの道」は、地元有志で組織する「大田まちづくりの会」と共に、ラン専門家の市橋先生の協力を得ながら、平成29年度(2017年度)から植栽を行い、現在では、シランやガーデンシンビジウムなど6種類、約6,000株が延長600メートルにわたって植えられており、4月から6月まで、色とりどりの開花を楽しむことができます。

(2) ランの道植栽会 開催記録

花と緑の豊かなまちづくりを推進するため、また、ランに親しんでもらうことを目的として、令和2年度(2020年度)から毎年、市民参加による植栽会を開催し、令和4年度(2022年度)には、「ランの道」が概ね完成することから、ランのまち東海市をPRするため、記念講演会を開催しました。また、令和5年度(2023年度)には、多くの方に「ランの道」を歩きながら花を楽しんでいただくため、普及啓発イベント「ランの道ウォーク」を開催しました。

令和2年度(2020年度)植栽会の記録

開催日	内 容	参加人数
6月16日(土)	ガーデンシンビジウム300株	23人
10月24日(土)	シラン1,200株	35人
		延べ58人参加

令和3年度(2021年度)イベントの記録

開催日	内 容	参加人数
6月5日(土)	シラン1,220株、ガーデンシンビジウム150株	57人
6月26日(土)	シラン440株、ファイリヤブラン440株	48人
		延べ105人参加

令和4年度(2022年度)イベントの記録

開催日	内 容	参加人数
5月28日(土) 午前	記念講演会 「東海市はどうしてランのまちなの」	105人
5月28日(土) 午後	植栽会:セッコク160株、フウラン160株、ガーデンシンビジウム50株	58人
		延べ163人参加

令和5年度（2023年度）イベントの記録

開催日	内 容	参加人数
5月20日（土） 午前・午後	普及啓発イベント 「ランの道ウォーク」	124人
5月20日（土） 午後	植栽会：セッコク 200株、フウラン 200株、ガーデンシンビジウム 100株	67人
		延べ 191人参加

(3) 世界蘭会議での「ランの道」発表について

太田川駅東歩道「ランの道」の整備に御協力いただいている、愛知教育大学名誉教授 市橋正一氏が、2024年2月下旬に台湾で開催される「第23回世界蘭会議」で講演をすることになり、その講演の中で「ランの道」を紹介されます。

国際的な会議の場で東海市の「ランの道」のプロモーションができる良い機会であるため、その後のインバウンドにも繋がると考えられます。

2 添付資料

- ・ランの道ウォーク
- ・植栽マップ
- ・記念講演会資料
- ・「名鉄 Wind」掲載記事
- ・世界蘭会議資料



らんのみち
Tokai City

入場無料

ランのまち、
東海市であなたのランを見つけに出かけよう。

太田川駅東歩道

ランの道ウォーク

4月中旬から5月下旬まで、
12種類、約6,000株のランが楽しめます。

ランの道
写真募集

だれでも参加
できるスマート
フォン撮影



詳しくはこちら



東海市 りんの花大使
春風 弥里 氏

令和5年5月20日(土) 10:00~15:00

小雨決行

ランの道づくり
植栽会

13:00~

事前
予約制

地域の皆様にて
「ランの道」に
植栽していただきます



お問い合わせは主催者 東海市まで



ワークショップ

[有料]

10:00~

世界でひとつだけの
オリジナルハーバリウムを作成

※ランの花ではありません

ランの
アーティフィシャル
フラワー
販売



スタンプラリー

10:00~15:00

スタンプラリー
ポイントを回って
スマホで紹介看板
を撮影しよう!



詳細は本チラシの
裏面をチェック!

ランの花装飾

常蓮寺 手水場

[スタンプラリーポイント]



| 主催 | 東海市

| 主管 | 株式会社まちづくり東海

produced by
知多メディアネットワーク株式会社

| お問い合わせ | TEL 0562-77-0789 [株式会社まちづくり東海]

同時
開催

& パン

スイーツマルシェ 太田川

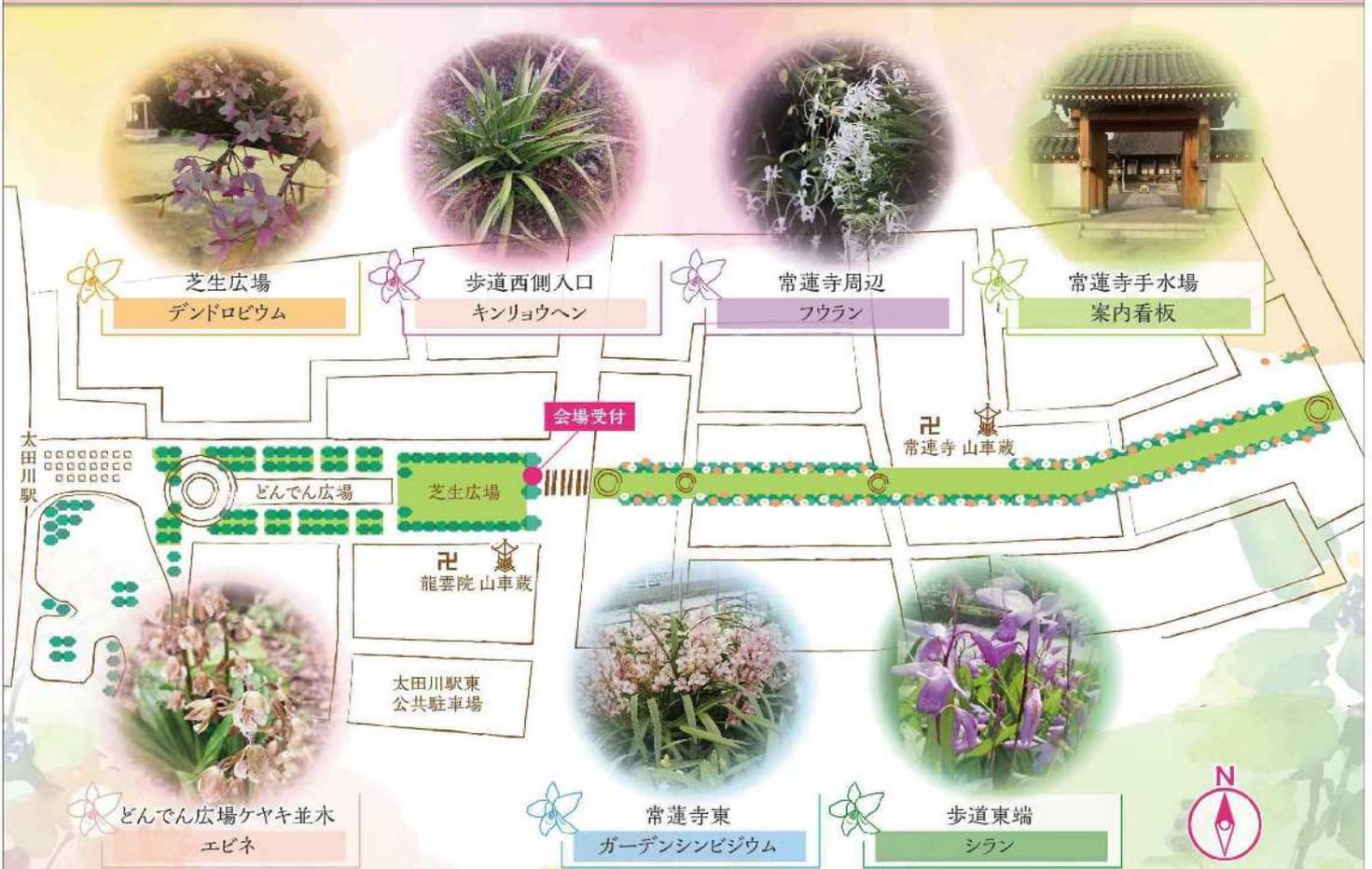
雨天
決行

パン
スイーツ
ワークショップ



詳しくはこちら

太田川駅東歩道 ランの道



5月20日(土)のスタンプラリーは…

「ランの道」設置の対象紹介看板7箇所を撮影しよう!
7つの画像が集まったら、会場受付でランの苗を貰おう!

※賞品は数がなくなり次第終了させていただきます。

- ・どんでん広場ケヤキ並木 [エビネ] ・芝生広場 [デンドロビウム] ・歩道西側入口 [キンリョウヘン]
- ・常蓮寺手水場 [案内看板] ・常蓮寺周辺 [フウラン] ・常蓮寺東 [ガーデンシンビジウム]
- ・歩道東端 [シラン]



ランの道

ランの道 監修
愛知教育大学名誉教授 市橋正一氏

名鉄太田川駅から東へ延びる歩道約600mには、シランやセッコク系デンドロビウム、フウランなど、12種類のランが約6,000株植栽されています。なかでもシランは、愛知教育大学名誉教授の市橋先生が品種改良された、個性あるオリジナルの16品種をはじめ、珍しい色の野生種等、他ではなかなか見ることができない貴重な花を楽しむことができます。



アクセス

- ・公共交通機関の場合
名古屋鉄道太田川駅すぐ(駅東側)
- ・車の場合
西知多産業道路「加家IC」または「横須賀IC」より約5分
知多半島道路「大府東海IC」より国道155号線で約10分

車でお越しの場合は太田川駅東公共駐車場をご利用ください。





セッコク(5月~6月)



フウラン(6月)



キエビネ(4月)



ガーデンシンビジウム(4月~5月)



ミニカトレア、オンシジウム(4月~5月)



ネジバナ(6月)



シラン(5月)



シラン(5月)

「ランの道」植栽マップ

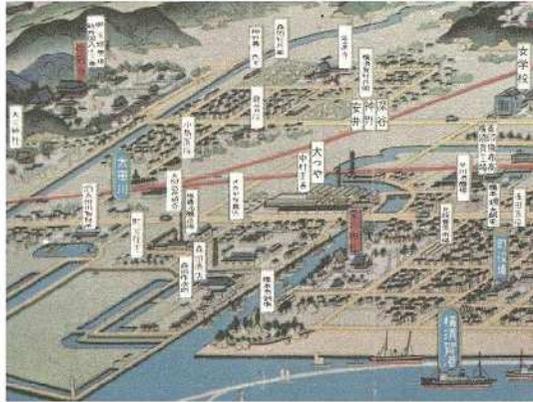


東海市はどうして

「ランのまち」なの



最初は、ランではなく、^{ぼたん}牡丹栽培から始まった。



▲ 神野牡丹園 (大正初期)



◀ 横須賀町史より、昭和11年「合併30周年記念」発行の「横須賀町農林交通鳥瞰図」

洋ランの栽培が増えはじめる (昭和40年代)

昭和41年2月25日発行 横須賀広報 第175号 (毎月1日・15日発行)

春はすぐそこ



横須賀広報

1966
2月
下旬号

※はじめたのは
観葉植物とほぼ同時期
(昭和35年頃)



太田川駅東歩道 ランの道づくり

大田まちづくりの会の皆さんを中心に
平成29年度(2017年度)から活動スタート



「緑の小道」沿いの植え付け(どんでん広場北側)



クスノキの枝への植え付け(どんでん広場東側)

ランの道づくり植栽会 (市広報で参加者を募集)



実施日

- 令和2年度(2020年度) 10月24日(土)
- 令和3年度(2021年度) 6月5日(土)
- 令和4年度(2022年度) 5月28日(土)

東海市が「ランのまち」であり続けるために



このランの道を引き継いでいってほしい。



見頃の「洋ラン」が通常より低価格で販売される即売会は、毎回行列ができるほどの人気。

年が改まった1月、愛好家だけでなく「洋ラン」初心者にもぜひ訪れてほしいイベント「東海フラワーショー」が開催される。「東海市自慢の洋ラン」を市内外に広く知っていただける機会です。春風さんもおもてなし、イベントに合わせて開花を調整した「洋ラン」1000鉢が豪華に咲き揃う展示は一見の価値あり。地元生産農家の技術力の高さを物語る。「以前は中高年のお客さまが多かったのですが、小さなお子さんのいる若い世代の方々にも楽しんでほしい」と、春風さんがプロデュースした職業体験企画「子ども花店」は、寄せ植えや苔玉作りなど

の園芸教室と並ぶ人気コーナーだとか。地元の特産品である「洋ラン」に親しみながら「花を通して心の交流が生まれ、子どもたちが故郷に誇りを持つきっかけになれば」と春風さんは期待を寄せる。ほかにも、「らんのみち」を象徴するロゴマークを監修したり、東京で行われる国際的な園芸展示会「世界らん展」への参加を実現させたりと、「東海市らんの花大使」として精力的に飛び回る春風さん。「洋ラン」の魅力を通じて、東海市という町の良さも伝えていきたいんです。活躍の舞台はますます広がっていきそうです。



子どもたちが店員役を務め、自ら作った花束をお客さまに手渡す「子ども花店(事前予約制)」。



生産者が自慢の鉢を出品するフラワーコンテストも実施。優秀作品は会場に展示される。

花とともに町の魅力も伝えたい。

年が改まった1月、愛好家

色も形も千差万別。奥深いランの世界。

ラン科植物の特徴といえば、花の色や形、香りなどが多種多様なこと。野生種だけでも、万種あるといわれおり、品種開発によって新たな園芸種も生まれている。東海市では、これまでに「洋ラン」の園芸種14種類を開発。「東海市立農業センター」が中心となり、「農家さんも一緒に町ぐるみで開発された」と聞いています。

町ぐるみといえば「太田川駅から東へ続く「ランの道」は、市民ボランティアの方が手入れされているんですよ」と、春風さん。ここには主に紫蘭が植えられており、見頃に合わせて市民参加型のイベントも開催される。地植えの紫蘭は初夏の花だが、12月頃は鉢物の「洋ラン」の最盛期。「私の好きなシンビジウムは、気温の低い冬場なら2カ月くらい花が長持ちします。家に花があるだけで心に余裕が生まれますよね」と、春風さんも「洋ラン」のある暮らしを楽しんでいるようだ。



今年5月、花の見頃に行われたイベント「ランの道ウォーク」では、観覧会を開催。春風さんも着物姿で参加した。



紫蘭が咲き誇る「ランの道」。ほかにも、木に着生するデンドロビウムやアウランなど12品種が植えられている(写真は5月に撮影)。

東海市で開発されたオリジナルの「洋ラン」全14種類の一部



デンドロビウムの「チャーミーレイ」。



デンドロビウムの「平洲」。



デンドロビウムの「メルフレンド」。



シンビジウムの「シンブリーレッド」。



ラン科のヒスイラン属に分類される「パンダ」。濃紫色が多いが、近年ではピンクや黄色、白などの花もある。



今年で32回目を迎える花と緑の祭典。初日から2日間は「洋ラン」と職業植物の即売会のほか、さまざまなイベントも行われる。生産者が丹精込めて育てた「洋ラン」が並ぶ展示ブースは開催期間を通して観覧可能。花とともに音楽パフォーマンスも楽しめる。

東海フラワーショー2024

開催日時/1月27日(土)~31日(水)
9:00~22:00(27日は10:00~、31日は~14:00)
※27日・28日のみイベントと即売会を開催(10:00~16:00)
会場/東海市芸術劇場
お問合せ/☎052-603-2211(東海市農務課)
常滑駅太田川駅下車 徒歩約1分



東海市では「洋ラン」の写真入りオリジナル婚約書を作成。クリアファイルもプレゼントしている。

春風さんが中心となって作成した東海市のポスターには、市内の生産農家による「洋ラン」のブーケを使用。

YouTubeでインタビュームービー公開中!
また、Instagram・Facebookで情報発信中!



名古屋放送

名鉄Wind

名鉄Wind

TIOS 臺灣國際蘭展 TAIWAN INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2022

WOC TAINAN 2024

Taiwan Orchid Growers Association TOGA

第23屆世界蘭花會議暨
第20屆臺灣國際蘭展

The 23rd World Orchid Conference &
The 20th Taiwan International Orchid Show

WOC TAINAN 2024

第23屆世界蘭花會議
暨 第20屆臺灣國際蘭展

地點：大臺南會展中心、臺灣蘭花生物科技園區

重要日程

- 2/23(五) 評審
- 2/24(六) 開幕典禮、內覽會
- 2/25(日) - 2/28(三) 會議
- 2/25(日) 迎賓晚宴
- 2/27(二) 臺南之夜
- 2/28(三) 會議閉幕典禮
- 2/25(日) - 3/10(日) 開放參觀

世界蘭会議とは

国際的で大規模なランの祭典であり、開催国を変えて3年毎に行われるその形態から「蘭のオリンピック」とも称され、世界中からランの専門家や愛好家が集まり、最新のランの専門的知識や話題を共有することを目的として開催されるもので、2024年2月には、「第23回世界蘭会議」が台湾で開催されます。

開催内容としましては、ランの専門家が学術的な研究発表を行う「会議部門（カンファレンス）」と、ランの展示や品評を行う「展示部門（エキシビジョン）」の2部門からなります。

1987年に東京で開催された「第12回世界蘭会議」では、「展示部門」に世界21か国から30,000株のランの出展があり、会場は連日盛況となり、期間中の来場者は40万人に達したとのことです。

今回の市橋先生の研究発表は

「会議部門（カンファレンス）」で「太田川駅東歩道ランの道の取り組み」について発表するもので、当日は、配布資料をもとに、スライドを交えながら20分間の口頭発表を予定しています。

また、発表内容を取りまとめた資料は、今回の「第23回世界蘭会議」の正式な記録本（プロシーディングス）に掲載されて、後世に残されることとなります。